

10/27(木) 第二回学校運営協議会(会議録)

司会:香川

記録:相原

○全体会(15:30~)

1、校長あいさつ

- 統合再編に関する説明
 - ・統合する際に擦り合わせをどうしていくか
例)各教科の単位数の問題や授業時間の差など
- 生徒に関して
 - ・文化祭が行われた
 - ・コロナ陽性者が増加傾向にある(他校では修学旅行後など増加)

2、協議

(1)校長より

学習 G より
進路 G より
広報 G より

} それぞれ中間報告により説明

(森)学校説明会後に twitter のフォロワーが増える傾向がある。

(2)(Q) 授業評価について、結果からどのような考察があるのか。

また、クリエイティブという学校の中でのデータが普通の学校と比べてどうなのか。

- (A) 教員に対する評価のみならず、生徒自身が取り組みを評価する項目もあるので、その結果を授業改善にどのように生かしていくかが今後の課題。
- (A) その流れで授業改善プログラムを実施している。

(Q) 学習支援の伝達能力を伸ばすための工夫とは、具体的にどうしているか。

- (A) 各教科に委ねている。
- (A) 具体的にこのような授業がありました。

生徒が音声を録音し提出する課題や聞いた内容を要約する、情報の取捨選択をする課題、英語でのやりとりなど。

(Q) 他者の考えを知り新たな考えを得る、という点に関して、2, 3年生はパソコンの配備がされていない。どのような工夫をして共有しているのか。

- (A) 授業の中での発表や生徒同士で意見をやりとりするなどの方法がある。

(Q) SNS における生徒の問題に関して。学年が上がるに連れて指導案件は減少するが、生徒の成長の可能性と案件が巧妙になっているだけではないかという可能性がある。防ぐために高校ではどのような対策を取っているのか。

- (A) SNS に関しては学校説明会の段階からその使用方法について説明している。現在の就職では、採用試験受験者の SNS について、企業が調査会社に依頼し、内定を考慮するなどということもある。3年では侮辱罪等の説明をし、その行為の重さを認識させている。

- (Q) 18歳成人について、消費者教育を含めて、学校でなにかトラブルはあるか。
- (A) 家庭科や現代社会など関連する教科で説明している。また、横浜銀行や法テラスによる講演会を予定している。そこでは、18歳でできる契約や注意すべき点などを説明する会を行う。
特にトラブルは聞いていない。
- (A) 特にトラブルは聞いていないが、課題として扱っていく案件ではある。総合的な探究の時間等を利用して指導する。
- (Q) 学校祭は生徒会を中心とした生徒が楽しむイベントなのか、授業等の成果発表が含まれていたのか。
- (A) クラスだけではなく教科の発表も実施している。また、準備などをする中でさまざまな学習の場面があった。例として、美術部の映画づくりなど。PTA では多くの方が企画に参加して下さった。
- (A) 以前までの下地をベースに、担当制ではなくて委員会横断型で活動した。

3、学校評価について

- ・ 仕事の中で起きたことを人に的確に伝える伝達方法、能力に関して、自分の考えや気持ちを人に伝えることは重要なので、生徒にしっかりと身につけてほしい。コミュニケーションの力を養ってほしい。
ノー残業デーに関しては、男性も女性も同じように働く、という現代において、それを生徒に見せる大人が示していかなければならない。
- ・ 朝、大井高校の生徒があいさつしてくれる。
HP や twitter の活用について、小学校でも課題である。
- ・ ノー残業デーに関しては、学校も保護者の助けを借りながらもっと増やしましょう。ある学校では夕方以降の電話の外線を切ったり、企業では消灯したりする例もある。
学校祭で PTA のブースの前が分教室だった。売り買いで分教室との交流があって良かった。同じ校舎にいるお互いの認識と交流ができる良い機会だった。